

第3回犬山市総合計画審議会での意見整理 補足資料

※●=市民意識調査、●=若者・子育てアンケート、●=審議会での意見、●=タウンミーティングでの意見を参照しています。審議会の意見は文末に発言のあった回・グループを付記しています。(例：2回目のグループAは【2・A】)

1) 健康、医療について

- ①今の生活の中で、「健康」を大切にしている人は66.1%。「家庭」(72.2%)の次に多い。
- ②5～6割の人が、今後「居心地がよく歩きたくなるまち」(約68%)、「生活を支える施設が身近にあり、自動車がなくとも暮らせるまち」(約55%)を目指すべきだと思っている。(9項目中上位2位。)→**図1**
- ③医療体制が充実していると思う人(約41%)は少ない。※1
- ④約21%の人が病院、医院など医療体制の充実を求めている。(12項目のうち5位。)→**図2**
- ⑤『健康で生活できるまちづくり』
- ⑥『健康長寿の町』

2) 多様性について

■高齢者について

- ①65歳以上の人で福祉や社会保障が充実していると思う人(32%)は少ない。※2
- ②『老人が気軽に集える施設や場所』
- ③『高齢者や弱者の見守り活動』
- ④『高齢であっても住み続けられるまち』
- ⑤『老人が生き生きした町』

■障がい者について

- ⑥『バリアフリー(身体とこころ)なまち』
- ⑦『福祉の充実』『福祉施設の充実』

■男女平等・共同参画について

- ⑧男女関係なく、平等な生活を送っているという女性は約68%だが、男性(約82%)に比べると少ない。※2

■外国人について

- ⑨「外国人も増えているなか、人口を増やそうとすると、長く住んでいた人も含めて多様性をどのように確保すべきか。」【2・A】

■その他

- ①『高齢者、障害者、多様な方々が住みやすい町』

3) 農業について

- ①地域の農産物を意識して食べている人(約31%)は少ない。※3
- ②地産地消が進められていると思う人(約34%)は少ない。
- ③『農業継続』(「自らできること」より)
- ④『耕作放棄地の活用。』

4) 防災・減災について

- ①住み続けたいと思う人の理由として「災害が少ない」が約43%で最も多い。
- ②「防災のため、地域の自治会など、市民団体に所属して活動することが社会的に重要になってくると感じている。」【2・A】
- ③『消防団員が不足。地区防災力には欠かせない。』
- ④『全員の防災意識が高い』『市民全体で災害対策』
- ⑤『避難所体験イベントがほしい』

5) 安全・安心について

- ①交通事故が少ないと感じている人(約38%)は多い。
- ②約30%の人が事故や犯罪などの予防・対策を求めている。(12項目のうち3位。)→**図2**
- ③『安全運転を心がける。』

6) 公共交通について

- ①コミュニティバスや、鉄道の利便性に関する意見・提案が見られた。
- ②約26%の人が通勤・通学などの交通の便の改善を求めている。(12項目のうち4位。)→**図2**
- ③『移動手段が確保されているまち』
- ④『交通機関が整備され、車がなくとも外出できる。』
- ⑤『バスが使いやすい。』

7) インフラについて

- ①道路が徒歩や自転車でも安全・快適に通行できると思う人(約33%)の方が少ない。
- ②道路や橋などのインフラが適切に管理されていると思う人(約35%)の方が少ない。
- ③歩車分離、ガードレール設置などの安全確保や狭あい道路解消などに関する意見・提案が多い。

8) 自然環境について

- ①住み続けたいと思う人の理由として「緑が多い」が約40%で2番目に多い。
- ②犬山市の誇れるところとして歴史、観光施設以外には自然が豊かであることが多い。

9) 文化について

- ①「文化的に世代や性別、国などが関係なく関われる場所があるとよい。」【2・B】
- ②「犬山市の文化は古いものだけでなく、新しいものもある。そういった文化も含めて愛着ができるのではないか。」【2・A】

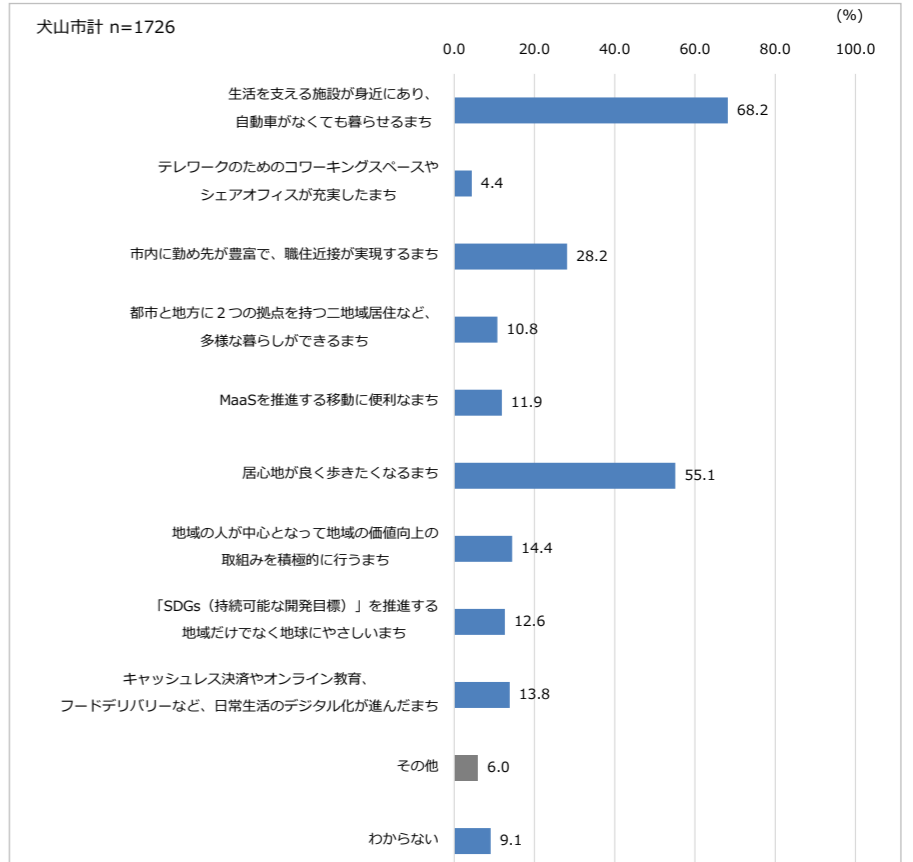


図1 今後目指すべきまち(市民意識調査)

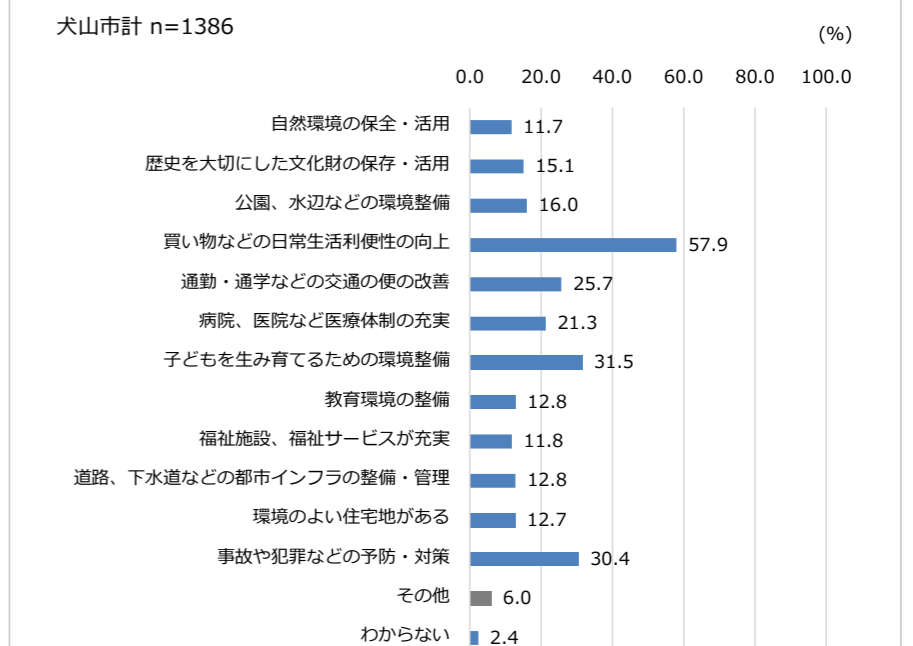


図2 定住するにあたって力を入れてほしい取り組み(若者・子育て調査)

※1：1)-③にある「医療体制が充実していると思う人」は、市民意識調査(18歳以上)の設問「医療体制が充実したまちだと思いますか。」にて「そう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合です。「ややそう思わない」「そう思わない」と回答した人の割合と比較して「少ない」と記載しています。2)-①、5)-①、7)-①、7)-②も同様の考え方で記載しています。

※2：2)-⑦にある「男女関係なく、平等な生活を送っているという女性」は、上記市民意識調査の設問「男女の性別に関係なく、平等な生活を送っていると思いますか。」にて「はい」と回答した女性の割合です。「はい」と回答した男性の割合と比較して「少ない」と記載しています。

※3：3)-①にある「地域の農産物を意識して食べている人」は、上記市民意識調査の設問「地域の農産物を食べていますか。」にて「はい」と回答した人の割合です。「いいえ」と回答した人の割合と比較して「少ない」と記載しています。3)-②も同様の考え方で記載しています。